

# なかの 市議会だより

4月号

平成27年4月16日発行  
No.40

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



## ひまわり保育園 開園



しゅん工式のテープカット▶

● 市政一般質問	その他	決議	意見書案	人事案	事件案	予算案	条例案	● 議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
50件	1件	1件	4件	1件	1件	14件	18件		18日間	3月20日	3月3日
	可決	可決	可決	推薦	適任	同意	可決				
						修正可決	可決				
							承認				
							可決				

3月定例会



## 3月2日早朝発生の大停電 での市の対応について

小林 忠一

**質問** 3月2日早朝、東北信38万世帯が停電した。「そのうちにつくさ」程度の考えでいたが、電気の復旧は、9時過ぎまでの大停電に見舞われた。市と電力会社間のホットラインはどうか。

**答弁** 停電の情報共有の連絡体制は整っている。

**質問** 防災行政無線・音声告知放送の対応はどうか。

**答弁** 電力会社に確認し、早期復旧が難しいとのことから、合わせて6回放送し、広報車により巡回周知した。

**質問** 停電時に音声告知放送子局の電池がないと受信できないが確認はどうか。

**答弁** 乾電池は加入者管理としているが、定期的に電池交換を広報紙・音声告知により呼び掛けている。

### 地方創生事業について

**質問** 市の具体的な事業は。

**答弁** 今議会中に提案予定で現在編成中である。計画は、本市の課題への対応を基本とし、既計画の拡大・

早期効果発現を中心としている。地方創生先行型は、5千234万円余に対し中野市版総合戦略策定、移住促進新規就農者支援等を計画。地方消費喚起・生活支援型は、8千162万円余に対し、プレミアム付商品券・低所得者商品券交付を計画。

### 公共温泉施設について

**質問** 各温泉施設の開設目的とその変更はどうか。

**答弁** 間山温泉公園は、市民のふれあいと健康の増進及び観光振興。豊田温泉公園及び斑尾高原体験交流施設は、市民の福祉と健康増進・地域活性化が開設目的であり、変更予定はない。

**質問** 営業実績はどうか。

**答弁** ばんぼこの湯は、平成24・25年度赤字、もみじ荘は、平成23・24年度赤字、まだらおの湯は、平成22年度以降赤字である。

**質問** 同一業務であり、指定管理者の統一はどうか。

**答弁** 施設ごとに募集しており、考えていない。

**質問** 各温泉施設の付属施設の開設・変更はどうか。

**答弁** 経営状況・施設の在り方の検討の中で判断する。

**質問** 市内に公的宿泊施設がない。拡充はどうか。

**答弁** 今後の見直しの中で総合的に判断したい。

**質問** 指定管理者との施設整備・運営の協議はどうか。

**答弁** 自主事業の範囲だが創意工夫をお願いする。

**質問** 各温泉施設のグレー

ンディングはどうか。

**答弁** 各温泉施設は、それぞれ異なるグレーンディングを施している。また、商工観光課を営業推進課に改組し、更なる情報発信を図り、本市の魅力を多くの方に知っていただくことで、人口減少に歯止めが掛かると考えている。

**質問** 地区による高齢化率と対応策はどうか。

**答弁** 中心市街地と人口が少ない地域において高齢化

率が低い状況である。中野市版総合戦略の策定において検討する。

**質問** 森林公園・建応寺跡展望台整備はどうか。

**答弁** 県等と相談したい。

**質問** 森の里間山温泉公園周辺施設の整備等について

その他の質問

北陸新幹線開業による本市の観光について



率が低い状況である。中野市版総合戦略の策定において検討する。

### 新市庁舎等について

**質問** 4つの手法の検討経過はどうか。

**答弁** 新庁舎建設整備基本計画の策定に当たり、財政上の理由から、新市民会館

## 市長の政治姿勢について

永沢 清生



**質問** 日本創生会議は、このまま地方からの人口流出が続けば、二〇四〇年には全自治体の半数に当たる8%

市町村が消滅する可能性がある」と発表された。これを受けて、新聞社が全国自治体のトップに受けとめを聞く

形でアンケートを実施した。池田市長は、「危機感はありません。抱いていない」と回答している。真意はどうか。

**質問** 今後、策定を予定している中野市版総合戦略において、子育ての安心を高める支援、中野市の特徴を活かした移住促進、地域資源を活用した地域経済の向上等への取り組み次第と考

の整備スケジュールを変更する選択をした。「庁舎建設、市民会館耐震改修」の場合は、総事業費約52億5千万円、「庁舎耐震改修、市民会館建設」の場合は、約48億8千万円、「庁舎と市民会館の耐震改修」の場合は、約19億5千万円、「庁舎と市民会館の建設」の場

合は、約81億円と算出した。判断材料の一つとして、耐震改修では、施設の耐用年数について、一般的に伸びるものではないとされている。耐震改修による施設の使用可能年数については、改修の程度により差が生じるため単純な比較は困難である。

**質問** 北側設置と比較して南側が優れている点は。  
**答弁** 現市民会館を解体せずに活用できること、仮庁舎を建設せずに新庁舎を建設できること等である。  
**質問** 市民への説明についてはどうか。  
**答弁** 具体的な施設のイメージ図の提示要望もあつた

ことから、今後行う「基本設計」の段階で、市民の意見を聞く機会を設けていく。その他の質問  
生活道路の改良について  
消雪パイプについて  
農業の持続的回復について



### 中部電力送電線事故に対する市の対応について

青木豊

**質問** 停電事故当日はどこから市役所に登庁されたか。  
**答弁** 長野市の居宅から。  
**質問** 停電直後に外へ出ると近所の方も不安げに外に飛び出し「どうしたのですか」と声を掛けられた。私も6時過ぎに市役所に行く

と庶務課長等は「情報がな

い」とのことであった。状況を知らせるため、7時過ぎに防災行政無線放送で第一報が市民に放送された。市長への連絡後は、すぐ役所に来るのが当然だ。危機管理体制に問題がある。  
**答弁** 私の初動は、危機管理体制の意識という点では率直に市民の皆さんにお詫びする。今回の長時間の停電を教訓に対応マニュアルを作成し、連絡体制など防災体制を一層強化したい。また、緊急時に何をすべきかのチェック項目をつくる

よう指示した。  
新市庁舎及び市民会館等の今後について  
**質問** 市庁舎新改築に否定的な「市民の声」をどう受けとめているか。  
**答弁** 整備及び機能方針は、理解を得たと考えている。機能方針に関する具体的な提案や南側配置の課題は、基本設計で対応したい。  
**質問** 新庁舎建設整備計画と増改築の費用の比較は。  
**答弁** 新庁舎の概算事業費は39億3千400万円、旧中野高校の増改築費は現時点で約16億2千万円となる。平成25年度公表の公共施設管理運営方針による費用額との比較は、当時の再構築17施設と大規模改修64施設

の合計で81施設、総費用額166億2千451万余円。これに対し、現時点では再構築と大規模改修合計で92施設210億6千390万余円である。  
**質問** 市庁舎新改築費用が、26億8千万円から39億3千400万円への大幅増額の時点で、一旦事業計画推進を停止し、広範な市民の意見を聞くべきではないか。  
**答弁** 肅々と進めたい。  
老人ホーム高社寮移転新改築等市長の政治姿勢について  
**質問** 老人ホーム高社寮移転新改築の早期実現が求められる。市長の見解は。  
**答弁** 北信広域連合において検討されることと考える。  
**質問** 施設の実態からも、

中野市長として住民の命と安全、暮らしを守るために広域計画期間内に具体化を。  
**答弁** 高社寮への思いは青木議員と共有しているつもりであり、ご理解願いたい。  
小規模企業振興基本法に基づく支援について  
**質問** 小規模企業振興基本法の具体化として店舗改装・備品整備等への支援策は。  
**答弁** 現在考えていない。  
**質問** 新年度検討するか。  
**答弁** 商店街の活性化等々は、早目に提示したい。



その他の質問  
いじめ・非行のない中野市について  
交通弱者支援及び市街地活性化促進について



**中野市新庁舎建設整備  
基本計画について**

堀内 臣 夫

**質問** 新庁舎の南側配置についてのメリットは何か。

**答弁** 市民会館を解体せず、飯庁舎を建設する必要がないことである。

**質問** 防災拠点の具体的機能についてはどうか。

**答弁** 最低3日間の使用を想定、防災無線のデジタル化による情報の共有を図る。

**質問** 新庁舎が南側配置により、必然的に玄関・駐車場は北側配置になる。世界標準とされている障がい者

標準とされている障がい者に優しいユニバーサルデザイン手法に反しないか。

**質問** 南側配置の新庁舎でもその考えを十分採用する。

**質問** 構造形式は、耐震構造と比較して免震構造が有利である。費用は免震工法が多いがどちらを採用か。

**質問** 「跡地を有効活用するための進入路として整備



**リーダー及び人材育成について**

芦澤 孝 幸



**質問** 魅力あるまちづくり若者会議の成果と出席者の反応はどうか。

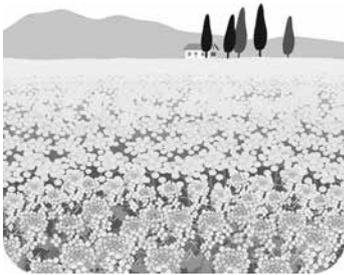
**答弁** 外部講師による講演や首都圏大学生との交流、フリーデイスカッションなどの活動、また、高校生が3人加わって現在15人で活動しており、意欲ある若者の参加が広がっている。

**質問** 今後の会議の方向性はどうか。

**質問** 市役所の名称についての考えはどうか。

**質問** 「中野市のままで良い」が67%で、「信州中野市に変更した方が良い」が25%であり、市民の機運が高まっているとは言えないと感じている。

**質問** 現在までの寄附者数、金額、特典の人気商品の状況はどうか。



**質問** 来年度も引き続き会議を開催し、プレゼン大会で提案された事業の具体化に向け活動していただくとともに、若者が主体的にまちづくりに取り組んでいけるよう支援していく。

**質問** 教育・文化、公共交通、観光について、満足度が低くなっているが、どう考えるか。

**質問** 平成27年2月末時点で、寄附者数4千371名、金額は5千643万円となっている。人気の特典品については、1位りんご家庭用10kg、2位りんご贈答用5kg、3位りんごジュースとなっている。



**質問** 控除額上限の引き上げや手続き簡素化に伴い、

今後の更なる拡充の考えは。  
**答弁** 本市の魅力をもっと全国へ発信するために、品揃

えの拡大を図るとともに、特典品を見やすくデジタルカタログ化し、ホームページ

シ、シカ等の被害が拡大している。また、カラスが異常繁殖し、今後の農作物被害が懸念される。市の対応はどうか。

シ、民間のポータルサイトに掲載する。また、来年度から、寄附の受付から特典



### 無人化された上今井駅について

松野 繁 男

**質問** 上今井駅が無人化され、昨年12月から新駅舎となった。駅利用者から、暖房用エアコンの設置や列車の遅れに対する的確な案内等要望する声が多い。市の対応はどうか。

**答弁** JRに要望する。

**質問** エアコンの設置は市の予算で対応できないか。

**答弁** JRの対応を待つことから対策を考えたい。

### 北陸新幹線の開業を目前にして

**質問** 中野市への誘客について、アクセス等はどうか。  
**答弁** 中野地域へは、長電バス、豊田地域へは、JR飯山線利用を考えている。

**質問** 新幹線飯山駅に中野市のアンテナショップ出店の考えはどうか。また、日本海沿線都市との観光連携を考えてはどうか。

**答弁** アンテナショップについては現段階では考えていない。観光連携については、新潟県糸魚川市と民間ベースで知音都市交流を行っている。昨年「糸魚川さかな祭り」に参加し、本市のPRや農産物の消費拡大を図った。引き続き市民間の交流拡大に努めていく。

### 有害鳥獣について

**質問** 豊田地域ではイノシ

シ、シカ等の被害が拡大している。また、カラスが異常繁殖し、今後の農作物被害が懸念される。市の対応はどうか。

**答弁** 害獣による農作物被害については電気柵の整備により減少傾向にある。獣類を減らす対策として「山追い」が効果を挙げている。今後も地元・猟友会と連携し、市も協力したい。カラスについては檻をしかけて捕獲、駆除している例があり、檻の設置について地元

の理解が得られれば市として支援していきたい。

### 上今井橋から栗林区間の仮設道路の安全対策について

**質問** 危険性の認識はどうか。安全対策について県に対して強く要望すべきでは

**答弁** 危険性については十分認識している。機会のあるごとに、安全対策を講ずるよう引き続き要望する。

### 新市庁舎と新市民会館について

**質問** 建設場所を南側に変更したこと、建設予算が膨らんだことについて市民の理解が得られたとは思えない。将来の人口減少、旧中野高校跡地活用、豊田支所

のあり方、市民会館建設等議論が足りないと考えてる。一度立ち止まって検討すべきではないか。  
**答弁** 2回の市民説明会、パブリックコメント等を通じ説明してきた。説明不足等の批判もあるが、スピード感を持って進めるべきとの意見もあった。懸念される課題等について「基本設計」の中で説明していく。

その他の質問

**小・中学校の適正規模について**

**少子化対策について**  
**旧合併特例事業債の活用方法について**  
**豊田支所のあり方について**

### 市議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。  
次の市議会定例会は6月です。





## 中野市合併10周年記念事業 の具体的内容について

町田 博文

**質問** 記念事業の具体的内容はどうか。

**答弁** 6月に自衛隊の音楽隊によるイベント。10月7日に記念式典及び物故者追悼式、同じく10月に中野市の歴史や伝統芸能についての記念講演会。また、高校生が中心となったイベント（現在高校と協議中）、さらにバラまつりに合わせ、抽選でバラ苗の配布を予定している。これらのほか、市民自ら行う記念イベントへも補助金の交付や冠付けを予定している。

**地方創生・経済再生等について**

**質問** プレミアム付商品券発行の予定はどうか。

**答弁** 信州中野商工会議所への補助を予定している。2割のプレミアムを付けて発行総額は2億5千2百万円である。時期は7月発売予定で、大型店との共通券だけでなく、一般商店に限定した券を加えていく。また、一人が購入できる限度額は30万円を予定している。

**北陸新幹線飯山駅開業を  
迎えて**

**質問** 新幹線飯山駅の発車メロディーが「故郷」であることから、一人でも多く高野辰之記念館に足を運んでもらうため、飯山駅と永田地区を結ぶバス路線を復活できないか。買物、通院にバスが欲しいという声も聞いている。

**答弁** バスの運行には多額な費用が見込まれ、また他の手段もあることから考えていないが、飯山市の意向を確認してみたい。

**電力の自由化への対応について**

**質問** 経費削減という観点

なされた。しかし、一般市民の参加、意見は極めて少数。これで十分に市民の意見を伺ったと言えるのか。

**答弁** 市民検討委員会、市民説明会、広報紙、市公式ホームページ等を通じて説明してきた。

**質問** 市長は、十分に市民

から、特定の公共施設で新電力に切り替えることを検討したかどうか。

**答弁** 平成25年10月から指定管理者が管理する市営野球場、豊田野球場、多目的サッカー場が新電力と契約している。料金の縮減につながる施設については、先行自治体の状況を調査しながら研究してみたい。

**高齢者肺炎球菌ワクチンについて**

**質問** 接種状況及び周知方法はどうか。

**答弁** 定期接種の接種率は12・7%、任意接種は3.4%である。該当者への周知は、広報紙、市ホームページのほか、市内医療機関でも協

力をいただいている。

**質問** 接種率が低いのは個別通知を行っていないことが原因と思われる。県下の人口10万人以上の7市はすべて個別通知を行っている。医療費削減効果も相当大きいと試算されている。中野市でも個別通知ができないか。

**答弁** 医療的な事故の危険性等も考慮し、最善の安全策をまずは優先させたい。

その他の質問

**第6期中野市介護保険事業計画について**  
**ロタウイルスワクチンへの助成について**

体的な施設のイメージ図を持って、議会及び市民の皆様へ説明していく。

**大雪による農業用施設被害への支援策について**

**質問** 大雪の被害から1年余りが経過した。農業用ハ

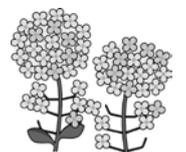


## 新庁舎建設整備基本計画について

阿部 光則

**質問** 新庁舎建設整備基本計画に対し多くの市民が疑

問を持っている。市民説明会、パブリックコメントも



ウス等の復旧もだいぶ進んでいる。事業の現時点での進捗状況はどうか。また、補助金の支払いはどうか。

**答弁** 申請者104人、対象施設202棟に対し、42人83棟8千221万円が完了。繰越承認申請者分を含めた撤去に係る補助金の支払は、年度内にすべて完了する予定。

**質問** 資材不足、労力不足により年度内に事業が完了

できるか心配される被災農家もいる。事業の年度を超えての実施が可能かどうか確認したい。

**答弁** 年度繰越については国への繰越承認申請に基づき承認が、3月6日付でされたので周知していく。

### 農業改革について

**質問** 安倍内閣は、農業改

革を進めようとしている。ある大学教授は、「岩盤規制の撤廃と言いつながら准組合員利用の規制強化を主張している。地域によっては唯一生活の支えである農協サービスへのアクセスを奪って良いのか」と述べている。農業改革は、農家所得の向上を目指すと言うが、農業・農村を一層衰退させると考えるがどうか。

**答弁** 今回の農業改革は、成長戦略として進められているものと理解している。

### シルバー乗車券・温泉利用助成券について

**質問** 共通券として利用できるようになり喜ばれている。利用状況はどうか。温泉施設の利用料は450円となっている。50円券の発行を

望む声がある。利便性の改善のためどうか。  
**答弁** 昨年同時期に比べて利用率は上昇している。共通券は、利用料金の一部として助成しているもので、50円券の発行はできない。

### その他の質問 アベノミクスについて 公共交通について

化と関係機関の協力を得て農業振興に取り組む。  
農業委員会としては、農地パトロールを毎年実施するとともに農地に関する相談を実施。委員会として遊休荒廃農地を借受、トウモロコシの栽培を行った。今後の対策については、農地の利用意向調査の実施や利用調整、あつ旋等を行う。

### 道路ストック総点検事業について

**質問** 総点検の実施内容と点検結果及び今後の対応策はどうか。

**答弁** 今年度は、道路トンネル、道路法面・擁壁など

の土工構造物、標識、照明施設、横断歩道橋の点検を実施。点検結果は、施設的安全性に問題となる異常は認められない。今後は、定期点検に関する国の省令及び告示に基づき、5年に1回の頻度でトンネル、橋梁などの点検を実施し必要な修繕を行う。

### 中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会の答申等について

**質問** 文部科学省の公立小学校・中学校の適正規模、適正配置等に関する手引きの活用及び検討経過等は。

**答弁** 文部科学省の手引き

は、学校統合の適否やその進め方、小規模校のまま存続する場合の充実策等を検討する上で、地域事情等を総合的に考慮し検討するために参考となる。検討経過は、学校は学びの場であり、地域住民の活動拠点でもあるため、あらゆる方向から検討してきた。学校は、児童生徒にとって望ましい教育環境を第一に考え進めてきた。今後は、市とも十分協議をし、出来るだけ早く基本方針を示し、市民の皆様のご意見を聞く。



## 遊休荒廃農地対策について

原澤 年 秋

**質問** 対策の経過はどうか。

**答弁** 遊休荒廃農地対策事業補助金による支援のほか、市内10か所で農政懇談会を開催し、課題及び各種支援制度を説明。また、関係機関の協力を得て、農地貸借のあつ旋等を行った。

**質問** 直近5年間の遊休荒

廃農地面積の推移はどうか。  
**答弁** 平成22年度45ha、平成23年度42ha、平成24年度45ha、平成25年度47ha、平

成26年度46haである。

**質問** 本市での農地中間管理機構の実績はどうか。

**答弁** 2月末現在、農地貸付希望者4人82・2a、借受希望者11人183aである。

**質問** 今後の遊休荒廃農地対策はどうか。

**答弁** 引き続き施策の着実な実施に加え、新規就農者確保、農産物販売の推進等関連施策との複合的な取り組み、また、庁内の連携強





## マイナンバー制度について

保 科 政 次

**質問** 導入に向けた取り組み状況について、市民への周知・説明はどうか。

**答弁** この制度の開始により、行政機関の窓口で、所

得証明などの添付書類が不要になるなどの簡素化と負担の軽減が図られる。また、正確な所得情報が把握されることから、税負担や社会

保障の公平化が図られるとされている。

**質問** 周知については、平成27年4月から順次、国が作成するポスターの掲示、広報紙及び市公式ホームページへの掲載、音声告知放送などの活用を考えている。

**質問** 個人情報流出や悪用の対策はどうか。

**答弁** マイナンバーを取り扱う機関すべてに対して、

適正な管理が義務付けられ、国が設置する特定個人情報保護委員会という第三者機関により、監視・監督されることとなっている。

**質問** 指導は考えているか。

**答弁** 遊休荒廃化した果樹園を含めた農地については、所有者に、適正な管理をし

## 遊休荒廃果樹園について

てもらおうよう関係機関と連携して、周知に努めている。

**質問** 経済的な支援は考えているか。

**答弁** 遊休荒廃農地を解消する支援制度については、その農地を耕作しようとする農業者等が利用権を設定した場合には、補助金を交付している。

**質問** 職員の出勤態勢はどうなっているか。

**答弁** 大雨及び大雪警報の発表、震度3以上の地震の場合に危機管理課職員が警戒態勢をとっている。停電についても対応マニュアルを作成した。



## ご当地ナンバープレートについて

青 木 正 道

**質問** 国土交通省が地域振興や観光振興の観点から、地域名表示を弾力化し、新たな地域名表示ナンバープレートの要綱基準としたが、満たすことは可能か。

**答弁** 平成26年度3月末現在、中野市を含めた須坂市以北の市町村の登録自動車数は6万5千982台で基準の10万台に達していない。また、当該地域を構成するす

べての市町村の合意が必要となる。

**質問** 導入の可能性はどうか。

**答弁** 現時点では考えていない。

**質問** 原動機付き自転車等のオリジナルナンバープレートについて、導入の可能性はどうか。

**答弁** ナンバープレートのデザインを工夫し、観光振興や名産物のPRなどを目

指して交付する市町村が増えており、県内でも10市町村がある。このオリジナルナンバープレートにより、広く本市をPRできるとは考えにくく、導入の予定はない。本市を訪れた観光客へのPR効果を考え、今後研究する。

## 非常時の情報伝達方法について

**質問** 区長や希望者への携帯メール配信はどうか。

**答弁** 今後、研究したいと考えている。

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案9件、予算案5件、事件案1件、陳情1件

について3月12日、13日に審査しました。主なものは、条例案では、

中野市教育委員会の権限に属する事務の一部を市長が管理及び執行することに關

する条例等の一部を改正する条例案などであり、原案どおり可決されました。

補正予算では、平成26年度中野市一般会計補正予算(第8号)については、事



## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案10件について3月12日、13日に審査しました。

主なものは、条例案では、中野市下水道条例の一部を

改正する条例案で、原案どおり可決されました。

予算案では、平成26年度中野市一般会計補正予算(第7号)の専決処分について、大雪に伴う事業費等

1億1千800万円の増額であり、原案どおり承認されました。

平成27年度中野市一般会計予算では、労働費8千614万3千円、農林水産業費11

億2千838万4千円、商工費6億185万9千円、土木費23億9千937万8千円であり、他の特別会計当初予算4件

と同様いずれも原案どおり可決されました。

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案7件、予算案8件について3月12日、13日に審査しました。

主なものは、条例案では、中野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例案で、原案どおり可決されま

した。

予算案では、平成26年度中野市一般会計補正予算(第8号)について、事業の確定等に伴う事業費の変更を行うもので、民生費では、障害者福祉費の自立支援事業費で2千793万7千円

の増額。衛生費では、国民健康保険事業特別会計繰入金2千762万5千円の増額であり、原案どおり可決されました。

平成27年度中野市一般会計予算については、歳出のうち総務費(関係部分)で

2億8千137万円、民生費60億7千751万1千円、衛生費24億9千643万6千円であり、他の特別会計当初予算3件と同様いずれも原案どおり可決されました。

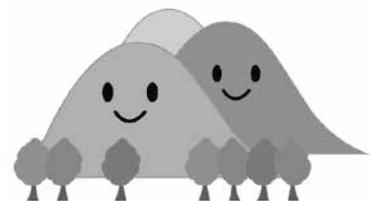
業の確定等に伴う事業費の変更及び繰越明許費の設定を行うもので、補正額7千985万4千円を増額し、補正後の予算総額208億6千160万3千円とするもので、主なものは、歳入では、ふるさと寄附金2千850万円の増額、歳出では、一般職退職手当等1千448万3千円の増額。平成26年度中野市一般会計

補正予算(第9号)については、国の平成26年度補正予算において、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」が創設されたこと等に伴い、新たな対象事業の追加、繰越明許費及び地方債の設定の各補正を行うもので、補正額1億5千478万4千円、補正後の予算総額210億1千638万7千円と

するもので、主なものは、歳入では国庫支出金1億3千666万3千円の増額などで、いずれも原案どおり可決されました。

平成27年度一般会計予算については、総額202億5千500万円で、議会費2億345万1千円。総務費関係部分22億9千184万9千円、消防費7億3千824万5千円、教育費16億8千706万7千円、公債費22億2千330万7千円、予備費4千万円で、債務負担行為の新市庁舎建設事業費38億9千121万6千円については削除して修正可決されました。

陳情では、「最低制限価格の設定に関する陳情」は、趣旨理解できる面とできない面があるとなりました。



### ■意見書

#### 〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

#### 農業の発展に必要な生産 基盤整備の拡充を求める 意見書

農業農村整備事業は、「食料・農業・農村基本法」に位置付けられた事業であり、国民が必要とする食料を安定的に供給するための農業生産基盤の整備のみならず、豊かな自然環境や景観の保全、治水等の多面的機能を維持する観点からも欠くことのできない事業である。

しかしながら、平成22年度以降、農業農村整備事業については大幅に縮減され、計画していた事業が進められないなど現場のニーズに十分に応えられていない実態がある。

平成24年度から予算規模は回復してきているものの、いまだ平成21年度以前の水準には戻っていない状況である。

よって、中野市議会は、国に対し、農業農村整備事

業の重要性に鑑み、下記事項を実現するよう強く要望するものである。

記

1 これまでに計画的に進められてきた実施中の事業や実施に向け準備を進めている事業が円滑に進められるよう措置を講ずること

2 今後、これまでに建設された畑地かんがい施設などの農業水利施設の老朽化に対応した計画的な補修や更新による施設の長寿命化が円滑に進められるよう事業予算を確保すること

3 土地改良事業や農地中間管理機構をフル活用した農地の大区画化の推進及び農村集落が持っている共同体機能を生かした農地、用水、森林、景観環境などの地域資源の管理を強化するためにも必要な事業予算を確保すること

#### TPP（環太平洋戦略的 経済連携協定）交渉に關 する意見書

昨年末に合意をめぐしたTPP（環太平洋戦略的経

済連携協定）交渉は、日米間はもとより、交渉参加国間の深刻な利害対立から、合意を断念せざるを得ない結果となった。TPPは、農業への甚大な影響のみならず、食の安全、医療制度、保険など、国民生活に広く影響を及ぼすなど、国民の懸念が広がっている。

しかし、今春のTPP合意をめぐすオバマ政権は、年明けから日米事務レベル協議を再開し、安倍内閣も日米が連携して交渉を促進する立場を繰り返し表明するなど、依然として緊迫した状況が続いている。

交渉にあたっては、衆議院及び参議院の農林水産委員会も、農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は脱退も辞さないものとするなどと等を明記した決議をし、自由民主党も一連の選挙公約で繰り返し同様のことを国民に約束してきた。

よって、中野市議会は、国に対し、地方経済に与える影響や地方の声を十分に踏まえ、下記事項について強く要望するものである。

記

1 TPP交渉に関する衆

議院及び参議院の農林水産委員会での決議を遵守するとともに、農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保ができない場合は、TPP交渉から脱退することも辞さないこと

#### 危険ドラッグの根絶に向 けた総合的な対策の強化 を求める意見書

昨今、「合法ドラッグ」「合法ハーブ」などと称して販売される危険ドラッグを吸引し、呼吸困難を起したり、死亡したりする事件が全国で起きている。特に、危険ドラッグの使用によって幻覚や興奮作用を引き起こしたことが原因とみられる重大な交通事故がたびたび報道され、中野市内でも第三者が巻き込まれて死亡する痛ましい事故が発生している。

危険ドラッグは「合法」と称していても、規制薬物と似た成分が含まれている等、大麻や覚醒剤と同様に、人体への使用により交通事故等による死亡事故も少なからず発生している。また、好奇心などから安易に購入

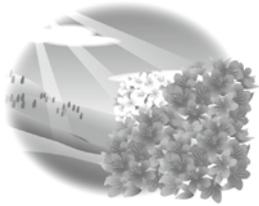
し、使用することへの危険性も強く指摘されている。厚生労働省は、省令を改正し、平成25年3月から、成分構造が似た物質を一括で「指定薬物」として規制する「包括指定」と呼ばれる方法を導入した。また、昨年4月からは、指定薬物については大麻や覚醒剤と同様に単所持が禁止されたところである。さらに、昨年12月には、指定薬物と同等以上に有害な疑いがある物品も検査・販売等の停止命令の対象とされたところである。

しかしながら、危険ドラッグの鑑定には簡易な検査方法がないため、捜査に時間がかかることも問題とされている。

よって、中野市議会は、国に対し、危険ドラッグ根絶に向けた総合的な対策を強化するよう、下記事項について強く要望するものである。

記

1 インターネットを含む国内外の販売・流通等に関する実態調査及び健康被害との因果関係に関する調査研究の推進、取り締まり体制の充実・強化を図ること



- 2 簡易鑑定を可能にする技術の開発、鑑定時間の短縮に向けた研究の一層の推進を図ること
- 3 薬物乱用や再使用防止のために、危険ドラッグの危険性の周知徹底及び学校等での薬物乱用防止教育の強化、相談体制・治療体制の整備を速やかに図ること

**最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書**

雇用労働者の約4割が非正規雇用であり、4人に1人が年収200万円以下の「ワーキング・プア」となっている。

今の最低賃金は、東京都で888円、長野県では728円、最も低い地方では677円であり、地域間格差も大きく、地方からの労働力の流出を

- 招いている。
- 二〇一〇年には「できる限り早期に全国最低賃金800円を確保し、景気状況に配慮しつつ、二〇二〇年までに全国平均1千円を目指す」という政労使の「雇用戦略対話合意」が成立している。そのため、最低賃金を引き上げるとともに、地域間格差をなくし、中小企業支援策を拡充することが必要である。
- よって、中野市議会は、国に対し、下記事項の実現を強く要望するものである。
- 1 「ワーキング・プア」をなくすため、最低賃金の大幅な引き上げを行うこと
  - 2 全国一律最低賃金制度の確立等、地域間格差を縮小させるための施策を進めること
  - 3 中小企業への支援策を拡充すること。中小企業負担を軽減するための直接支援として、中小企業とそこで働く労働者の社会保険料負担の減免制度を実現すること
  - 4 中小企業に対する代金の買い叩きや支払い遅延等をなくすため、中小企業憲章をふまえて、中小

- 5 雇用の創出と安定に資する政策を実施すること

**■決議**

**金子高幸議員に対する議員辞職勧告決議**

我々中野市議会議員は、議員として市民から負託を受けた立場と職責を十分認識し、法令、条例を遵守し、良識をもって市民の模範となるよう行動しなければならない。

とりわけ、男女共同参画社会基本法の理念に照らし、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受でき、かつ、共に責任を担うべき社会」の実現に向けて、我々市議会議員が率先して高度の倫理性と高潔性を備え、自覚ある振る舞いをしなければならぬ。しかしながら、金子高幸

議員は、平成26年5月7日、自ら所属していた市議会任意会派懇親会の席上、酔余来賓として出席していた女性職員に対して、その手を握り、肩を組む・背中から腰部をさする等の行為に及び、これを目撃した同席者からの注意にもかかわらず、しばらくの間これら行為を継続するなどした。また、同年12月12日、懇親会の席上、酔余、同席した女性議員のでん部を手で触るなどの行為に及んだ。

相手方の女性職員は「セクハラ」という表現は使用していないものの、「気分はよくなかった。そのような行為はやめてほしい。」と言っていること、当該行為が女性を著しく侮辱する行為であり、周囲に明らかでない不快な思いを与える点において極めて不謹慎な行為であると言わざるを得ない。

また、女性職員に対することに関しては、金子高幸議員はよく覚えていない旨の発言はしているが、明確に否定はしていないこと、金子高幸議員が女性職員及び家族に対して謝罪していること、相手方の女性職員からの被害申告に信用性に欠けるところがないことか

ら、金子高幸議員が女性職員のでん部を手で触る行為に及んだこと、少なくとも女性職員が嫌がらせであると感じたことは明らかである。

以上からすれば金子高幸議員の行為が、女性を辱め、周囲に明らかな不快感を与える極めて不謹慎な行為であると言わざるを得ない。

なお、金子高幸議員は、平成26年12月24日、所属の市議会任意会派からの処分がなされた際には、格別の反論は行わなかったが、その後も従前と同様に宴席に出席し、自らの各行為を否定する発言を行うなど、およそ反省・悔悟している者の行動とは思われない振る舞いを継続している。

これらの行動は、良識ある行動をとらなければならぬ市議会議員としてあるまじき行為であり、市民の信頼を裏切り、中野市議会の名誉を著しく傷つけるもので、断じて許すこととはできない。

よって、中野市議会は、金子高幸議員に自らの良識と判断において、速やかに市議会議員の職を辞するよう強く求めることを決議する。

表紙の写真

ひまわり保育園 開園

中野市ひまわり保育園が完成。3月23日、同保育園のしゅん工式が行われました。

この保育園は、旧西町保育園を改築したもので、総事業費は5億670万6千円。利用定員は、3歳未満児40人、3歳以上児60人の合計



▲下足のまま利用できる外階段



▲避難用すべり台



▲新しい園舎

100人です。

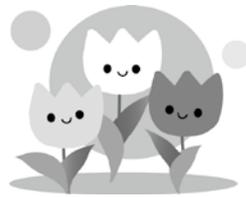
鉄骨造2階建ての保育園のため、2階から安全に避難できるよう、らせん式の避難用すべり台が設置されているほか、太陽光発電システムや地熱交換システムを設置し、環境にも配慮しています。

4月2日には入園式も行われ、園舎には、楽しく保育を受ける元気な子どもたちの声が響いています。

陳情

◎最低制限価格の設定に関する陳情

陳情者 一般社団法人 長野建築士事務所協会  
会長 池田 修平  
外1団体  
(長野市岡田町124番地1)



第4代前期

議会だより

編集委員会名簿

(順不同)

- |           |           |          |          |          |          |          |          |          |
|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 委員長 武田 俊道 | 委員長 保科 政次 | 委員 青木 正道 | 委員 金子 高幸 | 委員 小林 忠一 | 委員 阿部 光則 | 委員 原澤 年秋 | 委員 清水 正男 | 委員 町田 博文 |
|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|

あとがき

北陸新幹線が金沢まで延伸された。開業前の2月11日、長野駅から金沢駅までの試乗会に参加しました。

E7系車両は、白と青のスマートなボディで乗り心地は静かで快適でした。天候にも恵まれ、車窓からは高社山や科野小学校、中野市内の見慣れた景色が確認でき、日本海や立山連峰の眺めも最高でした。

日本が誇る土木、軌道、電気、機械の技術、そしてイースト・アイ(点検車両)等により、安全運行されることを願っています。各地域の今まで眠っている資源や宝を再確認し、人や文化の交流、そして信越自然郷という広域観光での経済効果で発展を願うところです。

